

第1回 意見交換まとめ(全体構成について)

資料1

ページ (修正前)	意見	対応方法
表紙、P1	特になし	ノートを書き始める意味を事務局にて作成
P2 はじめに	ページ下部:「法的拘束力はありません」の表記を大きくする	書く人、見る人のいずれもが分かりやすい表記に変更
P4~5 基本情報	①生年月日を追記した方がいい ②本籍地の移籍先は不要 ③好きなもの(嗜好欄)の記入が多い ④資産の取引先情報(詳細不要)があればいいのではないかと	①追記する ②残された家族の手続きを考えると記載があれば便利。 全体のレイアウトにて最終決定する。(現状は1件。コラム対応) ③嗜好欄は減らす方向で検討 全体のレイアウトにて最終決定 ④口座、支店名等まで分かるものを追記
P6 家系図	①家系図の枠が小さいので記入しにくい ②家系図下の緊急 ・追加資料の連絡してほしい人の書式の方が分かりやすい ・番号は優先順位の認識でいいのか ・5件は多いのではないかと	①記載しやすいように大きくする ②追加資料「連絡してほしい人」の書式で作成。 何件記載するかは、全体のレイアウトにて最終決定
P7 ペット	①ペットの種類の記事欄が多い ②他市や市販を見ても最後のページにあることが多い	①記事欄を減らす ②資料3(今回) 14ページ(3エンディング)へ移動。
P8 かかりつけ医療機関等	①西和ネットの加入状況を記載してはどうか ②身長、体重、血液型があった方がいい ③既往歴があった方がいい ④介護保険サービスの事業所は何を記載するか分からない ⑤服薬数が多い方は記事欄が足りない	①かかりつけ医療機関の表の下へ追記 ②ページの最上部へ追記 ③かかりつけ医療機関欄の「病名欄」を「病名/既往歴」へ変更。 不足分を記載できるようにページ中程、【その他、健康上の注意点・アレルギー等】に【手術歴/既往歴】を追加 ④「居宅介護支援事業所名」「担当ケアマネジャー名」に変更。 ⑤ただし書きに、処方時にもらう薬の説明書を薬と合わせて保管することを追記

ページ	意見	対応方法
P9～11 病気に なったら	①延命治療の行為についてイラストが入れば分かりやすい ②胃ろうなどの治療後の経過について説明があればいいのでは ③ACPの説明書きのように、家族等と話し合うことの重要性の記入が必要ではないか ④「延命治療」の言葉の定義が難しい。誤解のない表現の工夫が必要	①治療行為についてイラスト、説明書き等を追記 ②記載の有無については、全体レイアウトにて最終決定 ③資料3(今回) P8「人生会議(ACP)」のコラムに家族等との話し合いの重要性を記載。 ④最終版が完成までに表現方法について検討する。急性期とターミナル期の対応が分かるような形で記載予定
P12 看護、介 護が必要 になったら	①「介護してくれる人に伝えたいこと」の2つ目に「施設を～」記載するのはどうか。 ②判断能力が低下した場合、どうしたいか項目を追記しては	①「介護・看護をしてほしい場所」につながるので、設問を削除。 ②資料3(今回) P11 ④に選択肢を追加(⇒権利擁護として章立てするか、まとめるかは検討要)
P13～15 判断能力 が低下し たら	①チェックリストは必要か ②P14地域包括支援センターの表は重複のため不要では ③P15財産管理等をお願いしたい人の記載はリスクがあるのでは	①全体レイアウト(総ページ数)にて最終決定。ケアパス・QRコードの挿入も検討要。 ②P19と重複のためP14は削除。 ③成年後見や権利擁護はコラムとして記載。財産管理をお願いしたい人については削除。
P16、17 葬儀のこ と	①葬儀に関する内容が多いので減らしてはどうか ②チェック項目ではなく、自由記述にしてはどうか	①②全体レイアウトにて最終決定。(1ページ以下にする)
全体	①記入日等が各ページの右上だが、項目ごとにあった方がいい ②家族や関係者と話し合いが行われたか分かる方がいい ③エンディングノートの記載内容・目的について方向性の検討が必要	①項目ごとは難しいため、ノートの使い方に記載 ②人生会議日が記載できる方法について検討する ③エンディングノートの完成をどの程度の分量にするか ・「書く(＝本人の意向を示す)」に特化する点 ・「書く」と「知識を得る(考える)」と両方が必要な点 ⇒資料2にて案を記載